

2015年5月7日
株式会社日立製作所

**ビッグデータの高速分析が可能な SAP HANA 環境を
迅速かつ容易に実現する日立統合プラットフォーム
「Hitachi Unified Compute Platform for SAP HANA®」の新製品を全世界で販売開始
同時販売のハイエンドブレードサーバ「BS2500」新製品など、最新のハードウェア構成で提供**



日立統合プラットフォーム「Hitachi Unified Compute Platform for SAP HANA®」

株式会社日立製作所(執行役社長兼 COO:東原 敏昭/以下、日立)は、このたび、ビッグデータの高速分析によるリアルタイムなデータ活用が可能なインメモリプラットフォームの SAP HANA*1 と、日立の最新のブレードサーバやストレージを組み合わせた統合プラットフォームである「Hitachi Unified Compute Platform for SAP HANA®」(以下、「UCP for SAP HANA」)の新製品を、5月8日から全世界で販売開始*2します。

本製品は、最新のインテル® Xeon® プロセッサを搭載したハイエンドブレードサーバ「BS2500」の新製品や、2015年4月に発表した「Hitachi Virtual Storage Platform」のミッドレンジモデルなど、基幹業務に必要な信頼性を備えた最新のハードウェアと SAP HANA を組み合わせ、事前検証を済ませた構成で提供するものです。本製品により、ビッグデータの高速分析を行う SAP HANA 環境を迅速かつ容易に導入でき、企業の様々な業務システムにおけるリアルタイムなデータ活用を促進します。

なお、本製品の核となるハイエンドブレードサーバ「BS2500」の新製品についても、5月8日から販売を開始*3します。

*1 SAP HANA は SAP SE 社の高速インメモリプラットフォーム(メモリ上で高速なデータ処理を実現するソフトウェア)です。

*2 海外では米国子会社である日立データシステムズ社を通じて提供します。

*3 「BS2500」は、海外では米国子会社である日立データシステムズ社から「Hitachi Compute Blade 2500」の名称で提供しています。

近年、あらゆるモノがインターネットにつながる IoT(Internet of Things)が広がり、日々増加する多様かつ膨大なデータをリアルタイムに処理・分析し、新規事業の立ち上げや迅速な経営判断を実行するためのビッグデータの利活用が急速に拡大しています。このような背景から、企業の情報システムには、リアルタイムの業務処理とデータ分析が密に連携できる IT プラットフォーム基盤の導入を迅速かつ容易に実現し、業務量の変化に応じて柔軟に拡張できるシステム環境が求められています。

今回販売開始する「UCP for SAP HANA」は、基幹業務に必要な高い信頼性をもつ最新のハードウェアを組み合わせ、SAP HANA の認定を取得した構成で提供するため、企業やサービス事業

者は高信頼な SAP HANA 環境を迅速かつ容易に実現することができます。

また、本製品は、プロセッサ数やメモリ容量をきめ細かく選択できるラインアップを取り揃え、スムーズスタートからの導入でもビジネスの成長にあわせて柔軟にシステムを拡張することが可能です。

さらに、日立独自のサーバ論理分割機構 Virtage(バタージュ)^{*4}を適用したモデルでは、一つのハードウェアを独立性の高い論理区画(LPAR)^{*5}に分割した複数の LPAR 上で、SAP HANA システムを構築できます。そのため、サービス事業者などは SAP HANA システムの導入・運用コストを削減するとともに、マルチテナント環境^{*6}での安定したサービス水準の提供を可能とします。

^{*4} Virtage は 2014 年 10 月に SAP HANA の動作可能なハードウェア仮想化技術として、SAP SE 社から認定を取得。

^{*5} LPAR: サーバなどのハードウェアが持つリソース(プロセッサ、メモリなど)を論理的に複数の区画に分割して割り当てる方式(Logical PARTitioning)、または、その割り当てられた区画(Logical PARTition)。

^{*6} マルチテナント環境: 一つの IT システム環境を、複数の企業・部門のシステムやアプリケーションで共同利用する環境のこと。

同時に販売開始するハイエンドブレードサーバ「BS2500」の「高性能サーバブレード」では、処理性能を従来プロセッサ比^{*7}約 1.2 倍に向上する最新のインテル® Xeon® プロセッサ E7-4800 v3 / E7-8800 v3 製品ファミリーを搭載するなどの強化を行いました。

^{*7} 2014 年 10 月発売の「BS2500」の「高性能サーバブレード A1」に搭載しているインテル® Xeon® プロセッサ E7-8890 v2 と、新製品「BS2500」の「高性能サーバブレード A2」に搭載しているインテル® Xeon® プロセッサ E7-8890 v3 の比較。

なお、今回提供開始する「UCP for SAP HANA」は、従来国内で「日立インメモリ DB アプライアンス for SAP HANA®」の名称で提供していたアプライアンス製品の後継にあたります。本製品ではグローバルで名称を統一し、国内外の企業へ積極的に展開していきます。

日立は、今後も、ビッグデータ利活用や高信頼クラウドなどを、迅速かつ柔軟に提供する基盤として本製品をはじめとする統合プラットフォームおよび関連ソリューションを拡充し、企業の新たな価値の創出や迅速な経営判断を支援していきます。

■新製品の特長

1. 「Hitachi Unified Compute Platform for SAP HANA®」新製品の特長

(1)最新ハードウェア構成による SAP HANA 環境の迅速な導入と柔軟なシステム拡張を実現

ハイエンドブレードサーバ「BS2500」の新製品や「Hitachi Virtual Storage Platform」ミッドレンジモデルなど、基幹業務に必要な高い信頼性をもつ最新ハードウェア構成で、SAP HANA の認定を取得し、基本設定を済ませた状態で提供することにより、高信頼な SAP HANA 環境の迅速な導入を実現します。さらに、プロセッサ数が異なる 3 つのモデル(S モデル/M モデル/L モデル)を用意し、各モデルにおいてはきめ細かくメモリ容量を選択できるため、ビジネスの成長にあわせて、柔軟なシステム拡張を実現します。

(2) Virtage モデルにより、システム構築コスト削減と安定したマルチテナント環境を実現

Virtage を適用したモデルでは、一つのハードウェアを独立性の高い論理区画(LPAR)に分割した複数の LPAR 上に、SAP HANA システムの構築を可能とします。物理サーバと同等の信頼性や処理性能を実現できるほか、LPAR 間で性能負荷や障害の影響を受けないという特長があります。

これにより、業務基盤とビッグデータ分析基盤といった複数の SAP HANA システムを、同じハードウェア上で動作させることができ、導入や運用コストを低減します。また、サービス事業者のマルチテナント環境においても、SAP HANA システムを利用するテナント間で高い独立性を保ち、安定したサービス水準を実現します。

2.ハイエンドブレードサーバ「BS2500」新製品の特長

ハイエンドブレードサーバ「BS2500」の「高性能サーバブレード」は、従来プロセッサ比*7 約 1.2 倍に処理性能を向上した最新インテル® Xeon® プロセッサ E7-4800 v3 / E7-8800 v3 製品ファミリーや最新メモリを採用するなどの強化をしました。ブレード間 SMP*8 接続ボードを活用し、4 台のサーバブレードを接続することで、最大 144 コアの高性能な SMP サーバとして利用することができ、大規模なデータベース処理に求められる高い性能要求に応えます。また、2015 年 6 月提供予定の「I/O スロット拡張装置」と組み合わせて利用することで、拡張性をさらに拡大し、社会インフラや金融などの大規模な基幹系システムにも対応可能です。

*8 SMP: Symmetric Multi Processor の略。複数のプロセッサが同等な立場で並列処理を行う処理で、物理メモリを共有し、あたかも 1 つの高性能なサーバのように利用できる。

■本発表に関するパートナー企業からのコメント

SAP ジャパン株式会社 代表取締役社長 福田 譲氏

SAP ジャパンは、このたびの日立製作所の発表を心より歓迎いたします。「UCP for SAP HANA」は、リアルタイムなデータ利活用のために SAP HANA の導入を検討するお客様の導入や運用の負担を軽減し、お客様のビジネス価値の創出や新規ビジネスの早期立ち上げに貢献するものと期待しております。今後とも両社の協業体制を強化し、SAP HANA と日立の IT プラットフォーム製品を活用したシステムの積極的な提案と、新たなソリューションの開発・提供に向けて積極的に協力していきます。

インテル コーポレーション データセンター事業本部 マーケティング本部長 リサ・スペルマン氏

インテルは、長年にわたる日立製作所との技術やビジネスの強い連携により、成長を続けるビッグデータや IoT(Internet of Things)の市場に対応する新世代の日立製作所のプラットフォームの基礎として、新しいインテル® Xeon® プロセッサ E7v3 製品ファミリーが搭載されたことを心より歓迎いたします。日立製作所はインテル® Xeon® プロセッサのテクノロジーを活用して、SAP HANA のような大容量インメモリデータベース・ソリューションを容易に構築・拡張可能なシステムを提供するだけでなく、エンタープライズ顧客が要求する高い可用性を、ハードウェアベースのサーバ仮想化を搭載したサーバとストレージの統合製品によって提供することで、強力なプラットフォームのイノベーションを実現しています。

■今回発表した製品の価格と出荷時期(国内)

・「Hitachi Unified Compute Platform for SAP HANA[®]」新製品の価格および出荷開始時期

製品名	主な構成要素		価格	出荷開始時期
Hitachi Unified Compute Platform for SAP HANA [®]	サーバ	・BS2500 高性能サーバブレード A2	個別見積	5月29日～ ^{*10}
	ストレージ	・Hitachi Virtual Storage Platform ミッドレンジモデル ^{*9}		
	ソフトウェア	・SAP HANA 1.0 ・SUSE Linux Enterprise Server for SAP Applications 11		
	サービス	・SAP HANA 基本導入サービス		

*9 ストレージは物理環境構成のとき「Hitachi Virtual Storage Platform G200」、Virtage モデルのときは、「Hitachi Virtual Storage Platform」ミッドレンジモデルの中から、顧客要件にあわせて選定します。

*10 Virtage モデルは 2015 年 7 月 6 日出荷開始予定。

・ハイエンドブレードサーバ「BS2500」新製品の価格および出荷開始時期

製品		価格(税別)	出荷開始時期
BS2500	高性能サーバブレード A2/E2	2,602,000 円～	5月29日～ ^{*11}

*11 BS2500 用の「I/O スロット拡張装置」は 2015 年 6 月 30 日出荷開始予定。

■「Hitachi Unified Compute Platform for SAP HANA[®]」モデルラインアップ

	S モデル	M モデル	L モデル	S for Virtage モデル ^{*12}	M for Virtage モデル ^{*12}	L for Virtage モデル ^{*12}
サーバブレード 種別	BS2500 高性能サーバブレード A2					
ブレード数	1	2	4	1(2LPAR)	2(4LPAR)	4(4/8LPAR)
プロセッサ数 [コア数]	2[36 コア]	4[72 コア]	8[144 コア]	2[36 コア] (1LPAR あたり 1[18 コア])	4[72 コア] (1LPAR あたり 1[18 コア])	8[144 コア] (1LPAR あたり 1/2[18/36 コア])
メインメモリ容量	128GB/ 256GB/ 384GB/ 512GB/ 768GB/ 1TB/ 1.5TB	128GB/ 256GB/ 384GB/ 512GB/ 768GB/ 1TB/ 1.5TB/ 2TB/3TB	256GB/ 512GB/ 768GB/ 1TB/ 1.5TB/ 2TB/ 3TB/ 4TB/6TB	768GB (1LPAR あたり 384GB)	1TB/2TB (1LPAR あたり 256～512GB)	2TB/4TB/6TB (1LPAR あたり 256GB～1.5TB)
ストレージ種別	Hitachi Virtual Storage Platform G200			Hitachi Virtual Storage Platform ミッドレンジモデルの中から、顧客要件にあわせて選定		

*12 Virtage モデルにおける LPAR 数および、LPAR あたりの仕様は出荷時の構成です。

■日立統合プラットフォーム「Hitachi Unified Compute Platform」について

「Hitachi Unified Compute Platform」は、サーバ、ストレージ、ソフトウェアなどを組み合わせて提供し、IT 環境の迅速かつ容易な構築・運用を実現する統合プラットフォームです。国内のラインアップは、従来から提供しているプライベートクラウド環境向け、デスクトップ仮想化環境向けに加え、ビッグデータ活用向けとして「UCP for SAP HANA」が今回追加されました。

<http://www.hitachi.co.jp/ucp/>

■ハイエンドブレードサーバ「BS2500」について

<http://www.hitachi.co.jp/bds/>

■日立と SAP とのパートナーシップについて

日立と SAP ジャパンは、1994 年に日本国内における「サービスパートナーシップ」契約を締結して以来、協業範囲をサービスからプラットフォームまで拡大してきました。さらに、日立は SAP 社と 2008 年に「SAP グローバルサービスパートナー」契約、2011 年に「SAP グローバルテクノロジーパートナー」契約、2013 年には日立の米国子会社である日立データシステムズ社と SAP 社によるグローバル OEM(Original Equipment Manufacturer)契約を締結し、グローバル顧客に対する共同での販売・マーケティング活動にも取り組んでいます。

■SAP HANA について

SAP HANA は、大量データをサーバのメインメモリでリアルタイムに処理するインメモリ・コンピューティング技術です。メモリ大容量化、マルチコア化、分散並列処理技術、高度圧縮技術といったハードウェア、ソフトウェアのテクノロジーの飛躍的な進化により、大規模なデータベースからデータを吸い上げて加工・集計し、データを利活用するまでにかかっていた作業時間を大幅に短縮します。

■他社商標注記

- ・SAP、HANA、記載されているすべての SAP 製品およびサービス名は SAP 社のドイツおよびその他世界各国における登録商標または商標です。
- ・インテル、Xeon は、米国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- ・その他、記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 情報・通信システム社 IT プラットフォーム事業本部

お問い合わせフォーム：<http://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR/>

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
